



パラディアン建築

トマス・ジェファーソンは16世紀の建築家パラディオに憧れて自邸とヴァージニア大学をパラディアンで設計した



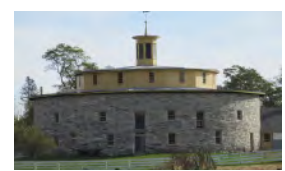
ポストモダン建築

自由を失って様式化したモダニズムに反旗を翻したベンチューリの母の家の近くにカーンのエシェリック邸が



現代建築

ニューヨークの新名所ハドソンヤーズ(2019年3月OPEN)の展望台ベッセル。WTCも含めてNYは新建築が満載



シェーカー建築

ハンコックのシェーカービレッジを訪ねて、シェーカーの素朴で純粋な建築と家具と生活を視察しました



アメリカ東海岸



南雄三ツア-2019

アメリカ創生期の夢をせた家と現代建築



ニューポート アイザック邸 設計マックム、ミード&ホワイト

2019年の南雄三ツア-はアメリカ東海岸をバスで駆け巡りました。

- 独立の火種になったボストン、最初の首都ニューヨーク、独立宣言をしたフィラデルフィア、そして現在の首都ワシントンを結び、
- 第3代大統領トマス・ジェファーソンのパラディアン建築から始めて、ルイス・カーンのエシェリック邸とロバート・ベンチューリの母の家。
- 恒例の図書館巡りはボルチモアのジョージ・ピーボディ図書館。
- そしてニューヨークでハドソンヤーズやWTCで現代建築を楽しみ、
- 大きく寄り道してハンコックのシェーカーの村で質素な風に触れ、
- その逆に高級リゾート地ニューポートでは豪邸に呆れかえり
- マックム、ミード&ホワイトのシングルスタイルに心地よさを感じて、
- ボストンまでの歴史色濃い海岸線ではジョン万次郎ゆかりの建築を、メイフラワー号が辿り着いたプリマスでは入植時の原始的な村落を見て
- ボストンではポール・リビアの全米最古の木造住宅とMITでエロ・サーリネンのチャペルを見て、ボリューム過多の視察を締め括りました



欧州列強が挙って入植した東海岸



公約通り100%晴れ。ニューヨークでは1日自由行動。全員2~3万歩歩いてヘトヘトに。でも各自ニューヨークを自分のものにして、これぞ南ツア-の独り飯精神。

アメリカは移民の国で1600年代から欧州列強が挙って入植しました。その後、英国が各国の入植地を抑えて、13州に分けて植民統治しましたが、過大な関税の圧政に反発して、13州は大陸軍をつくって独立戦争を起し、1783年に英国からの独立が認められました。

13州は各々母国をもつことでは余所者同士でした。「日本に生まれれば日本人」という概念はアメリカには通用しません。よくぞ一つにまとまったものだと思います。

<辺境スピリッツ>

入植者達は西に展開する広大な荒野に向けて開拓の旅に出ます。フロンティア・・辺境・これぞアメリカ精神。あんなに大きな大陸ですから、目の前に広がる荒野がどれほど大きくて、入植時の胸を高鳴らせたことか・・アメリカの歴史は眩しいほどに輝いてみえます。

<様式建築>

入植当時は船に大工も居て、工具もあったので、母国の様式で家がつくられました。入植地毎に各国の様式がつくられる様は様式建築の博物館そのもの。欧州よりもっと欧州らしい古きよき家を観ることができます。

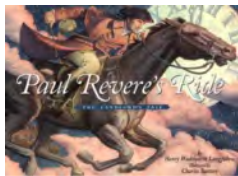
一方、辺境に向けて開拓の旅が始まれば、そこには大工も道具もなく、森があれば丸太小屋をつくり、森がなければ日干し煉瓦で家をつくりました。そこでは土着性(バナキュラー)をもったデザインが生まれました。

<粗末な入植家屋の村>

そんな私の目の前に現れたのがプランテーション生活史博物館でした。メイフラワー号で1620年に苦難の果てに辿り着いた新大陸。彼らの生活は着の身着のまま家をつくり、自給自足することからはじまりました。その粗末な家をみていると、私が思っていた、いや本で勉強していた「様式建築」の華など欠片もありませんでした。

メイフラワー号で辿り着いたグループの指導者は「こうして多くの困難を経験して広い大洋を渡ってきたが、迎えてくれる友もなく、風雨に打たれてきた体をねぎらい休める宿もなく、行って助けをを求めるべき家も街もなかった※」と記しています。既に町があり、国がある処に移民するのではなく、全くなにもない処に入植することの厳しさ。アメリカ人の更なる辺境精神にぶちのめされる思いでした。

※「アメリカ人—その文化と人間形成(講談社現代新書)加藤秀俊著」より



ポール・リビア

建国の立役者ポール・リビアはイギリス軍の動きを大陸軍に知らせる為に真夜中に馬を走らせた。後にPaul Revere's Ride「真夜中の騎行」と呼ばれました。右の家はリビアの家で全米最古の木造300年住宅



トマス・ジェファーソンの自邸(モンティチェロ/左)とヴァージニア大学(ロトンダ/中)



独立宣言を起草し、後にアメリカ第三代大統領になったトマス・ジェファーソン(右の像)は欧州滞在中にパラディオに魅せられて自邸と大学はパラディアンで設計。



トマス・ジェファーソン自邸モンティチェロ

ヴァージニア大学図書館ロトンダ

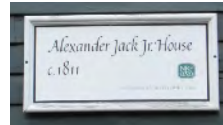
トマス・ジェファーソン銅像



フィラデルフィア・独立記念館 1776.7.4 13州の代表が集まりトマス・ジェファーソンが起草した独立宣言が署名された。



ニューイングランド・コロニアル様式



1811年築



クイーンアン様式とグリーク・リバイバル様式



プリマス プランテーション生活史博物館



NY・MOMAの正面にあるステーキ屋 FOG&CHAOに予約無し+独りで飛び込んだら、絶品ステーキをGET!



NYのランチはロックフェラービルの近くでみつけた日本料理店でカツ丼。丸い盛り付けはNY風なのか?



シェーカー村を見学した後、村のダイニングでハンバーガー。シェーカーの有機的な生活を想いながらのランチ。



ニューポートの夜は海辺のレストランで牡蠣を1ダース食べた。小ぶりの牡蠣で肉厚は薄く味はとて面白い。



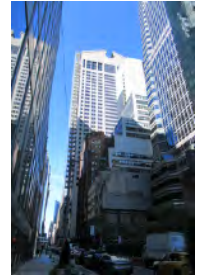
帰国前夜はボストンのレストランで反省会。メイン料理は大きくて真っ赤なロブスター。肉もミソもたっぷり。



ロバート・ベンチャーリの母の家 今回で3度目だが初めて家の中を見学できた。

モダニズム建築はしがらみだらけの装飾に満ちた建築から自由になる活動だったが、結局は自らの様式に縛られることになった。ミースはLess is more.といったが、ロバート・ベンチャーリはLess is boreと皮肉り、自分の好きな形と装飾をもった「母の家」をつくりました。また、ニューヨークではフィリップ・ジョンソンが古典のペディメントでAT&Tビルを設計して、モダニズムを終わりに導きました。

フィリップ・ジョンソン設計の旧AT&Tビル



男女が交わらない祈りの踊り。体を激しく揺さぶることからシェーカーと呼ばれた

ハンコック・シェーカービレッジ シェーカー教はアン・リーをリーダーとするキリスト教の一宗派で、独身性をもった宗教的共産社会を形成。1774年に英国からアメリカに移り、最盛期の1850年頃には19ヶ所の共同体で6000人以上の信徒が共同生活を送っていました。次世代をつくらないことから今ではメイン州に数人の教徒が残っているだけ。ハンコックにあるシェーカーの村は当時の生活を示す博物館であり、男女平等、勤勉、質素を心掛けた生活と、世界的に知られる素朴で実用性に徹したシェーカー家具をみることができます。

M.M&W マックム、ミード&ホワイト アメリカ建築史上最も成功したといわれる設計ユニットで、アメリカン・ボザールを打ち立ててアメリカン・ルネッサンスの時代を築きました。パラディオの流れを汲みながらのボザール風古典だけでなく、ニューイングランドのコロニアル住宅にも目を向けて、ニューポートではシングル様式の建築をデザインしています。アイザック・ベル邸をみていると、F.L.ライトの自邸を思い出しました。パクリとは口が裂けても言えませんが。



ニューポートカジノ 1881年



ニューポートの豪邸



ニューヨーク市庁舎とブルックリン橋
ニューヨークの名建築は乱立するつまらない高層建築に謀殺されてしまった



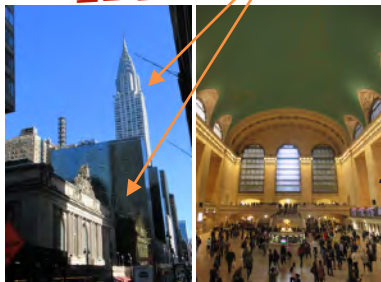
F.L.ライト自邸 1889年



アイザック・ベル邸 1883年



ブレイカーズ邸 呆れかえる豪華さ。



グランドセントラル駅 1871年開業
 手前古典風が駅で背後にクライスラービル



ワールド・トレード・センター・トランスポーテーションハブ
 2016年開業 設計：サンティアゴ・カラトラバ



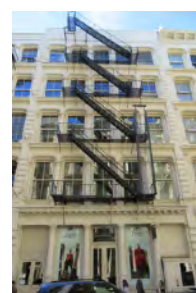
ボルチモア ジョージ・ビーボディ図書館 (1879)



ニューヨーク公共図書館 (1911)



ニューヨークSOHOはキャスト・アイアン建築の宝庫



アメリカっぽいぜ!



ご存じマンハッタンを船から撮りました

ボストン MITのチャペル→
 エーロ・サーリネン設計



建築というより装置?